

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県、勝浦町、上勝町	地域再生計画名	徳島東部の基盤整備による農林業の生産性・収益性の向上を支援する計画
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	徳島県 農業基盤課長 國安 寿昭、森林整備課長 山岡 嘉暉		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	農道整備による農産物の集出荷施設への輸送時間の短縮	1時間45分	H23	—	—	1時間4分	H27	1時間8分	○	農道の効率的な整備により、農産物の集出荷施設への輸送時間の短縮が概ね達成できる見込みである。
	指標 2	計画林道整備区域内の勝浦町及び上勝町の森林面積3,047haのうち、今後5年間に7%の森林整備を実施	—	H23	—	—	213.29ha	H27	225.52ha	○	林道の基盤整備で道路網のアクセス改善が図れ、森林施業の効率化により、目標値を大きく上回ることができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度(H25)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	農道整備事業（整備延長）	1.76km	0.46km	1.62km	今回の整備により、集出荷施設への輸送時間の37分の短縮を達成でき、一定の成果が認められた。一方、さらに農産物の集出荷施設への輸送時間の短縮を図るためには、道路ネットワーク機能をより一層効率的に整備する必要があり、地域間のアクセス改善をめざして広域農道の整備延長などさらに事業を行う必要がある。						
	林道整備事業（整備延長）	9.3km	7.3km	8.3km	整備が計画の89%の実績となり、林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、搬出間伐等実施面積の増となった。また、計画林道整備区域内には未整備の地域が存在するため、引き続き事業実施を行う必要がある。						
その他の事業	森林・林業・木材産業づくり交付金事業	基幹的な作業道及び簡易作業道の整備			基幹的な作業道及び簡易作業道の整備を実施したことにより、高性能林業機械を搬入することができ、間伐材などの更なる素材生産量の向上を図ることができた。						
	森林環境保全整備事業	適正な森林の維持管理			適正な森林の保育事業を進めたことにより、間伐材の有効利用ができ、森林資源の更なる循環利用を進めることができた。						
	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	高性能林業機械による効率的素材生産の実践			高性能林業機械の導入で森林所有者の経営改善が図られるとともに生産性の向上及び安定的な生産量の確保をすすめることができた。						
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	地域再生協議会を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行い結果を決定した。										
⑤事後評価の公表方法	徳島県・勝浦町・上勝町のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した広域農道と林道を一体的に実施し、広域農道では効率的な整備で流通の効率が向上したことにより、輸送労力の節減が図れ、輸送時間の短縮につながり、一定の成果が認められた。また、林道の基盤整備では、道路網のアクセス改善が図れ、森林の適正管理が行われ搬出間伐等の推進により、目標値を大きく上回ることができた。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、計画通り広域農道、林道の整備が進捗していることから、集出荷施設への輸送時間の短縮や森林整備については、一定の事業効果があり、次期地域再生計画においても、さらなる広域農道の整備により、農産物の流通合理化を進め、輸送時間の短縮と労力軽減を図る必要があると考えている。一方、さらなる山間部での林業においても新次元林業プロジェクトと連携し、主伐から造林、保育までの「森林サイクル」の定着に必要な林業の施業形態に対応した生産性を高める道路網整備を推進していくことで、間伐材などの生産量の増加による森林資源の循環利用を進める。また、高性能林業機械化を推進することにより、歩行労働の軽減が図れ就労条件の改善を図り雇用の創出を図っていき、今後、地方創生道整備推進交付金により、事業の実施を進めてまいりたい。										